

大阪府工業指数2023年8月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…94.4 前月比▲4.2% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、輸送機械工業など 6 業種が低下し、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業など 8 業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、鉄道車両部品等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲2.7%と 2 か月ぶりの低下となった。

(2) 出荷指数…89.2 前月比▲4.1% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、石油・石炭製品工業など 5 業種が低下し、輸送機械工業、食料品工業など 9 業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、エチレン等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲5.6%と 2 か月ぶりの低下となった。

(3) 在庫指数…102.0 前月比 1.0% 4か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業、汎用・業務用機械工業など 8 業種が上昇し、輸送機械工業の 1 業種が横ばいとなり、電気・情報通信機械工業、化学工業など 4 業種が低下した。

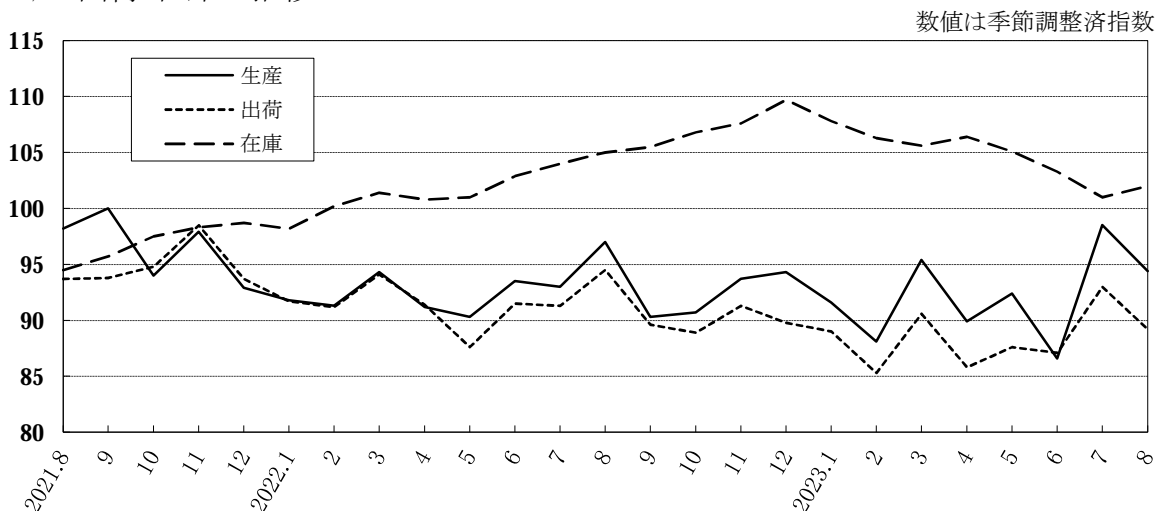
品目別にみると、鋼半製品、汎用内燃機関等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲2.8%と 2 か月連続の低下となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2023年 7月	98.5	13.7	97.9	6.0
	2023年 8月	94.4	▲ 4.2	87.7	▲ 2.7
出 荷	2023年 7月	93.0	6.8	92.4	1.8
	2023年 8月	89.2	▲ 4.1	83.8	▲ 5.6
在 庫	2023年 7月	101.0	▲ 2.2	103.3	▲ 2.9
	2023年 8月	102.0	1.0	103.0	▲ 2.8

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 4.2%

上昇 8業種
低下 6業種
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	0.477	5.4	セパレート形エアコン(室外)、標準変圧器
	生産用機械工業	0.461	4.4	超硬工具、ショベル系掘削機械
	汎用・業務用機械工業	0.410	6.1	ポンプ、汎用内燃機関
	食料品工業	0.289	3.3	ウイスキー、ビール・発泡酒
	金属製品工業	0.248	3.3	飲料用アルミニウム缶、産業用アルミニウム製品
	プラスチック製品工業	0.210	5.8	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製容器(中空成形)
	窯業・土石製品工業	0.009	0.4	無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地
	その他工業	0.008	0.1	金属製家具、繊維板・パーティクルボード
	その他の上昇した品目			合成アセトン【化学工業】、酢酸ビニルモノマー【化学工業】
低下	化学工業	▲5.262	▲17.2	医薬品、溶剤系合成樹脂塗料
	輸送機械工業	▲0.471	▲6.9	鉄道車両部品、駆動伝導・操縦装置部品
	石油・石炭製品工業	▲0.241	▲30.1	ガソリン、軽油
	電子部品・デバイス工業	▲0.155	▲12.3	アクティブ型液晶パネル
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.112	▲1.8	亜鉛めつき鋼板、鍛鋼品
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.045	▲3.0	段ボール原紙
	その他の低下した品目			アーク溶接機【電気・情報通信機械工業】、バンディングマシン【生産用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	合成アセトン	化学工業
	2	酢酸ビニルモノマー	化学工業
	3	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	4	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	5	ウイスキー	食料品工業
	6	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	7	フェノール	化学工業
	8	超硬工具	生産用機械工業
	9	無アルカリガラス基板	窯業・土石製品工業
	10	鉄道車両	輸送機械工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	4	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	5	バンディングマシン	生産用機械工業
	6	パッケージ形エアコン	汎用・業務用機械工業
	7	金属工作専用機	生産用機械工業
	8	プレス用金型	生産用機械工業
	9	ガソリン	石油・石炭製品工業
	10	分析機器	汎用・業務用機械工業

(2) 出荷

前月比

▲ 4.1%

上昇 9 業種
 低下 5 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	0.435	5.6	鉄道車両、電動アシスト自転車
	食料品工業	0.365	4.1	ビール・発泡酒、ウイスキー
	プラスチック製品工業	0.249	6.3	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製容器(中空成形)
	汎用・業務用機械工業	0.218	3.2	ポンプ、チリングユニット
	電気・情報通信機械工業	0.188	2.8	セパレート形エアコン(室外)、セパレート形エアコン(室内)
	金属製品工業	0.183	2.2	飲料用アルミニウム缶、産業用アルミニウム製品
	その他工業	0.051	1.0	マーキングペン、木製家具
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.008	0.6	紙器用板紙
	電子部品・デバイス工業	0.006	1.4	電子回路基板
	その他の上昇した品目			超硬工具【生産用機械工業】、新ジャンルビール【食料品工業】
低下	化学工業	▲3.632	▲19.0	医薬品、エチレン
	石油・石炭製品工業	▲1.467	▲18.0	軽油、ガソリン
	生産用機械工業	▲0.437	▲4.3	装輪式トラクタ、ショベル系掘削機械
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.433	▲3.7	銅荒引線、鋼半製品
	窯業・土石製品工業	▲0.018	▲1.0	生コンクリート、ファインセラミックス(構造材)
	その他の低下した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】、フェノール【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

1.0%

上昇 8 業種
 低下 4 業種
 横ばい 1 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	鉄鋼・非鉄金属工業	0.439	2.1	鋼半製品、銅荒引線
	汎用・業務用機械工業	0.387	3.4	汎用内燃機関、エアハンドリングユニット
	生産用機械工業	0.378	15.6	装輪式トラクタ
	石油・石炭製品工業	0.209	8.4	重油、液化石油ガス
	食料品工業	0.032	0.8	チョコレート
	その他工業	0.028	0.5	繊維板・パーティクルボード、金属製家具
	金属製品工業	0.026	0.2	飲料用アルミニウム缶、スチール製缶
	窯業・土石製品工業	0.004	0.4	安全ガラス、無アルカリガラス基板
	その他の上昇した品目			LED器具(除.自動車用)【電気・情報通信機械工業】、合成洗剤【化学工業】
横ばい	輸送機械工業	0.000	0.0	—
低下	電気・情報通信機械工業	▲0.512	▲3.0	乾電池、電気冷蔵庫
	化学工業	▲0.392	▲2.2	アンモニア、界面活性剤
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.131	▲7.9	段ボール原紙
	プラスチック製品工業	▲0.089	▲2.8	プラスチック製パイプ、プラスチック製フィルム・シート
	その他の低下した品目			産業用アルミニウム製品【金属製品工業】、鉄鋼切断品【鉄鋼・非鉄金属工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2015年=100
 生産 ————
 出荷
 在庫 - - - - -

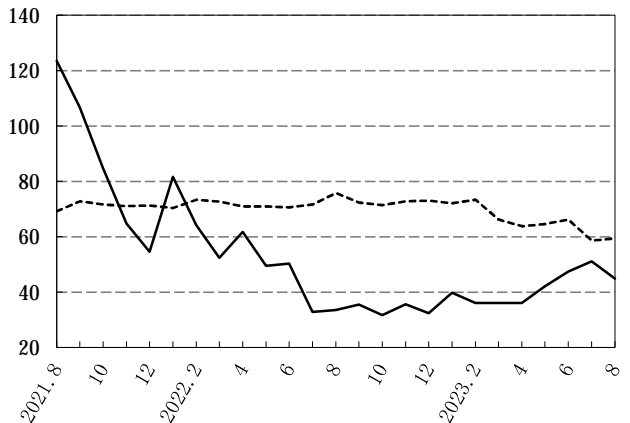
汎用・業務用機械工業



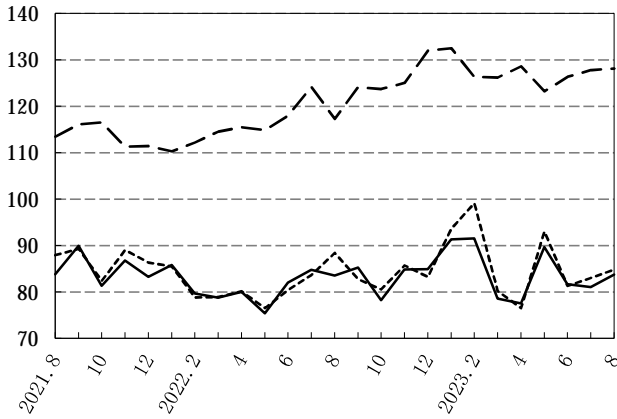
鉄鋼・非鉄金属工業



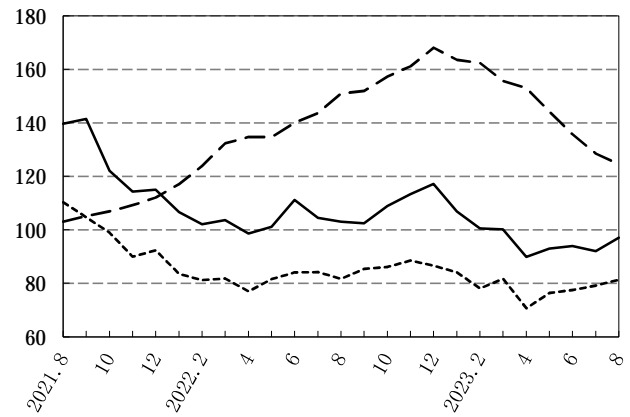
電子部品・デバイス工業



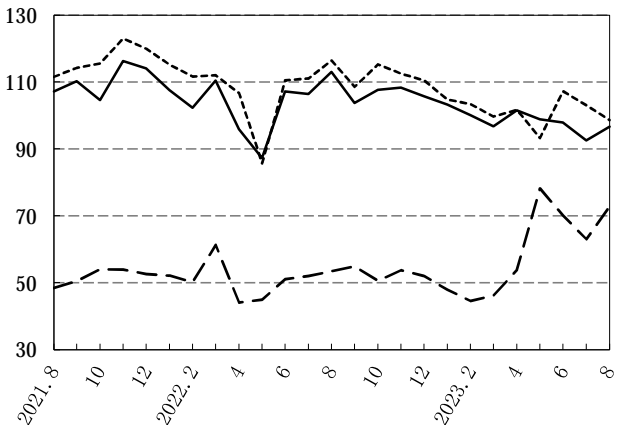
金属製品工業



電気・情報通信機械工業



生産用機械工業



輸送機械工業



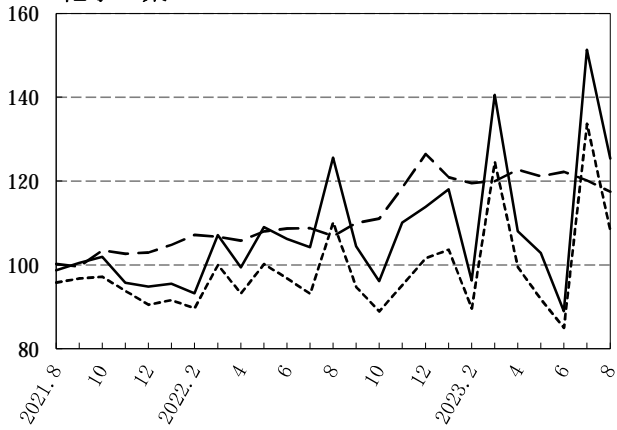
窯業・土石製品工業



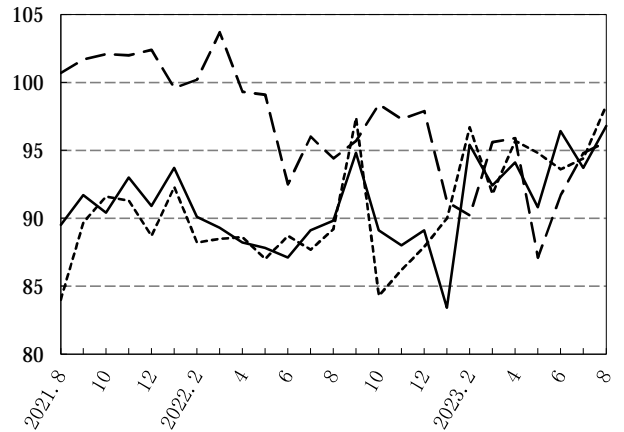
パルプ・紙・紙加工品工業



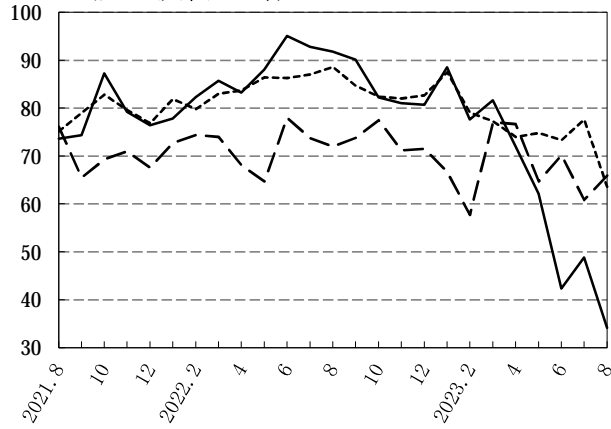
化学工業



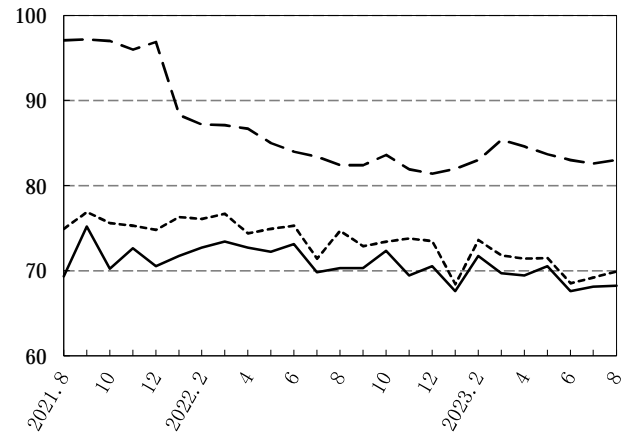
食料品工業



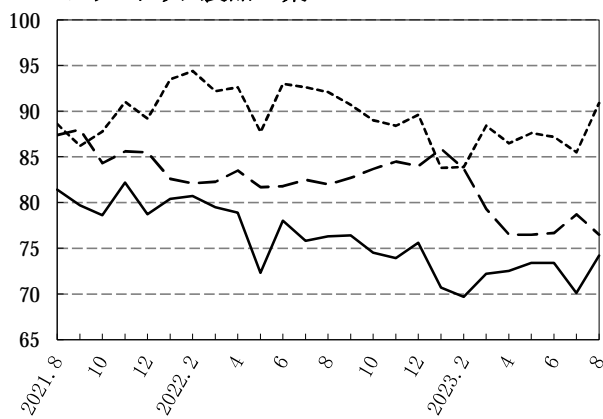
石油・石炭製品工業



その他工業



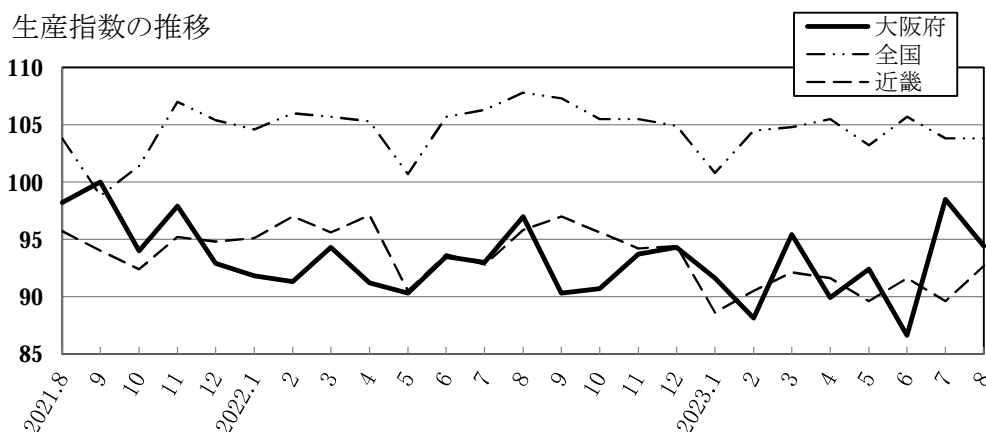
プラスチック製品工業



4 全国・近畿の状況(速報)

	大阪府 (2015年=100)		全国 (2020年=100)		近畿 (2015年=100)	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	94.4	▲ 4.2	103.8	0.0	92.7	3.5
出荷	89.2	▲ 4.1	103.2	0.1	93.3	3.9
在庫	102.0	1.0	104.6	▲ 1.7	103.1	▲ 0.3

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、**2015年(平成27年)**です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成**31年**1月速報(**2019年**3月**29日**公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2022年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2023年7月速報(**2023年**9月**29日**公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、**2023年**1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)